

# ハナショウブ園の植栽状況

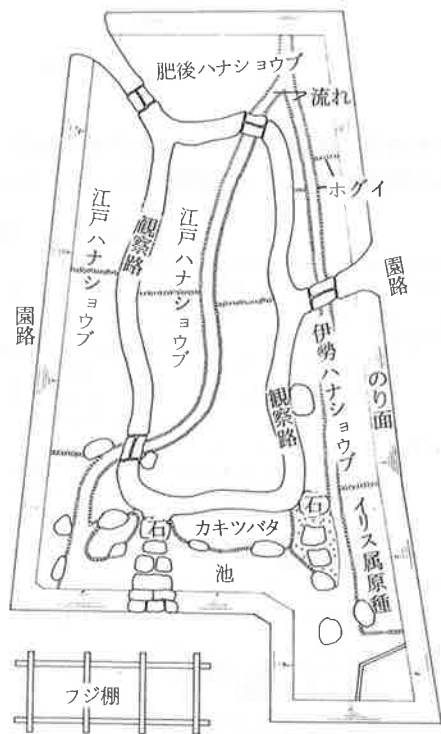
竹下 宏

昭和56年4月からハナショウブ園の造成を園内の池北側で行い、ハナショウブ、カキツバタなど160品種、640株を植栽した。

園概要：総面積約800㎡で、植栽地の周囲を一段高い園路で囲み、なかに鑑賞路と流れ、池を配置させた。また、南側にはフジ棚とベンチを設け、鑑賞と休息の場とした。

土壌改良：植栽地が古い水田の跡地で、大小の石が硬い粘土層のなかに埋っており、植栽には不適當であったため真砂土を客土し改良を行った。使用した土壌改良剤、肥料は表のとおりである。

植栽：江戸系、肥後系、伊勢系の各ハナショウブとカキツバタの園芸品種をそれぞれの区域ごとに原則として1品種3株を植栽した。また、1区画には、ノハナショウブやヒオウギアヤメなど湿地性原種を集め、7種40株を植栽した。



ハナショウブ園土壌改良剤・肥料使用量

土壌改良剤・肥料	使用量	10当り m <sup>2</sup> 量
樹皮堆肥	1,400kg	47 kg
油カス(ナタネ)	80	2.7
魚粉	40	1.3
熔成燐肥	80	2.7
草木灰	30	0.1

植付植物概要

植 物 名	品 種 数	株 数
ハナショウブ江戸系	81品種	390株
〃 肥後系	50	142
〃 伊勢系	16	48
カキツバタ	6	24
イリス原種	7	40

## タケ園の植栽について

中ノ殿 潔

昭和54年3月、京都府立植物園からタケ類22種3変種11品種の寄贈を受けた。これらは、昭和53年8月、展示資料館東側に新設したコンクリート隔壁による竹類見本園に植栽した。植栽位置及び植栽植物名は次のとおりである。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35

タケ類見本園区画位置図